

広報 ほうじょう

町の人口	
(昭和56年9月31日現在)	
前月比較	
男	3,945 (+5)
女	4,214 (+1)
計	8,159 (+6)
世帯数	2,642 (+4)



しし舞い復活 中古門の子ども会

ドンドンツクツクピーヒャラリ、笛の音に誘われるように、かね、太鼓が澄み切った秋の空に鳴り響き、子どもたちが踊り、ししが舞う。ここは町立第三保育所。園児たちの前で、しし舞いをひろうしているのは、中古門子ども会の皆さんです。はじめて目の前で見るしし舞いに、喜ぶ園児たち。

中古門子ども会(中谷静雄会長)では、約二カ月前から練習を始めたしし舞いを、十月十九日午後三時から、まず白髪神社に全員で奉納、そのあと町立第三保育所、および特別養護老人ホーム方信園でひろうしました。

しし舞いを復活した(以前のしし舞いは少人数で行う簡単なものでしたが、現在練習しているのは多人数で舞うため非常にダイナミックに感じます)理由について、地もとの子ども会々長、中谷静雄さん、および方城中学校PTA会長の池永清隆さんは次のように言っています。

「現在青少年の非行化が全国でも問題になっており、その防止策についてあれこれ対策を考えているようですが、子どもたちが全員そろい心を合わせて行うしし舞いは、非行防止に役だつてのではないかと思ひ練習を始めたものです。練習は週二回夜間に実施していますが、練習を積み重ねていく内にいつしか練習が楽しみに変わり、練習回数を増やしてくれ、との要望が子どもたちから出る程になっています。」

昭和五十四年、五十五年と二年連続して、郷土芸能で福岡県代表として全国大会に出場した金田町上金田青年団は、五十五年度、全国第一位の栄冠を獲得しました。

その上金田青年団(代表指導者木戸勝正)のかたがたから指導を受けています。

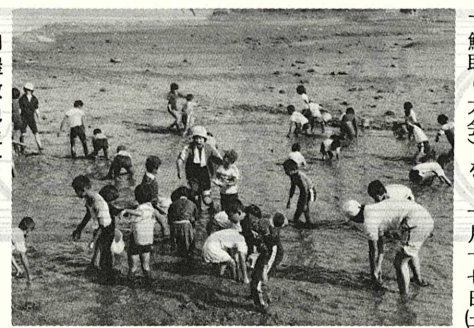
まだ始めたばかりですが、そのうちレパートリーもだんだん増え、文化祭、春祭り、その他の発表の場できっとすばらしいしし舞いを私たちに見せてくれることでしょう。

十一月のこよみと
し

- 一日 燈台記念日
- 三日 文化の日
- 五日 乳児検診 狂犬病予防接種
- 六日 狂犬病予防接種
- 七日 立冬
- 七日・八日 方城町文化祭
- 十五日 七五三祝
- 二十日 インフルエンザ予防接種 (高校生)
- 二十二日 子ども会対抗駅伝大会
- 二十三日 勤労感謝の日 農業祭
- 二十五日・二十六日 インフルエンザ予防接種(一般)
- 二十五日・二十七日 婦人ガン検診
- 二十六日 秋の全国火災予防運動

鯉取り大会

— 弁城小学校 —



内屋敷池にて
コイをとる子どもたち

弁城小学校全児童が行う恒例の「鯉取り大会」を、十月十七日(土)

に行いました。晴天に恵まれ、どろんこになりながら力いっぱい鯉と格闘する。自然との対話であり、ふれ合いでもあります。

今年で七年目を迎えるこの大会は、弁城の自然条件である溜め池の多さを生かし、自然と一体となつてたわむれる。まさに弁城ならではの行事です。

おもしろい精神や、やる気、また郷土を愛する心情はこんなことから生まれるのではないだろうか。児童たちが学年末につくる文集の中にも「鯉取り大会」のことが多くせられていきます。このことからいかに印象に残る行事であるかが分かります。

この行事が実施できる陸には、PTA役員、委員のかたがたをはじめとす父母のかたがたの協力力はもちろん、地域住民のかたがたの心のこもったご支援があることを忘れてはなりません。

池の借用の世話、稚魚の世話、魚の運搬、池の水の調整、釣人への注意、前日の夜警、当日の加勢など数えきれない程のご協力のたまものです。

子どもたちの幸せのために、教師と父母(住民のかたも含めて)が心を一つにして協力する。こんなすばらしいことはないと思う。たしかに骨の折れる仕事ではありますが、やりがいのある仕事です。この伝統ある行事を、いつまでも大切にしたいと思っています。

最後に、子ども感想文の一部を掲載させていただきます。

鯉取り大会

四年 葛原勝代

十月十七日に、鯉取り大会がありました。

八時三十分、学校の前に集まって、校長先生や、田中先生に鯉取り大会のことで注意されて出発しました。

場所は、政一郎君の家の前です。政一郎君の家の前です。おかせてもらいました。

用意をして、一せいにつつみの中に入りました。わたしは、はだして入りました。とぼしり、顔や服がよごれました。魚もちえがあるのか、死んだふりをしてるのもしました。

おたまじゃくしがたくさんいて気持ちわるかったです。

六年生の人が大きな魚を取って写真を写してもらっているんだと思います。

うなぎを追いかけている人もいました。みんなどろんこになって一生懸命に魚を追いかけて取っていました。五年生の竜ちゃんほどべの中を首までつかって泳ぎながら魚を取っていました。一年生や二年生も「きゃっ、きゃっ」と言いながらどろんこになって、魚を追いかけていました。わたしは、小さいのを六びきぐらい取りました。みんな、たくさん取っていました。



どろんこになり魚をもらって喜ぶ子どもたち

こいつとり大会

二年 ふじいこうじ

きょうこいつとり大会が、ありました。先生のピストルのあいつで池に入りました。みんなが、大きいこいつや、小さいこいつを、どんだんつかまえているので、「うらましいな。」と、思いました。でも、中ぐらいの、こいつを、はじめてつかまえたときはものすごくうれしかったです。大きい魚が、足にぶつかってきました。それで

ぼくはこけました。みんなはどんだん魚をつかまえていました。大きいこいつをつかまえていました。「みんなは、大きい魚をとっていいなあ。」と思いました。ぼくは三びきぐらいとって一びきもらいました。ぼくは、もつたとき、「よかつたな。」と思いました。それで、六びきぐらいになりました。あとで、みんなに魚をわけてもらいました。わけてもらうとき、つぐみちゃんのおばちゃんからわけてもらいました。ふな二びきと、

こいつびきもらいました。家に帰ってすぐに、池に入れてあげました。こいつは、ものすごく早くおいで元気がいいです。こいつとり大会は、おもしろかったです。

今年で最大の鯉を取って帰りました。車で帰る人もいました。

今年の鯉取り大会もおもしろかったです。今日で、おいかわ先生や、竹下先生ともお別れです。今日の弁城小学校の魚取りを思い出していただきたいと思います。六年生も最後の小学校の思い出ができたと思います。とっても楽しい鯉取り大会でした。鯉取り大会の前日、先生や、おじさんや、おばさんが、鯉を見守ってくれたおかげで、たくさん鯉が取れました。ありがとうございました。

今年で最大の鯉を取って帰りました。車で帰る人もいました。

今年の鯉取り大会もおもしろかったです。今日で、おいかわ先生や、竹下先生ともお別れです。今日の弁城小学校の魚取りを思い出していただきたいと思います。六年生も最後の小学校の思い出ができたと思います。とっても楽しい鯉取り大会でした。鯉取り大会の前日、先生や、おじさんや、おばさんが、鯉を見守ってくれたおかげで、たくさん鯉が取れました。ありがとうございました。

鯉取り大会

五年 久富竜治

今日は、こいつ取り大会です。こいつ取り大会をするつづみに行く前、校長先生の注意がありました。つづみについて、つづみの中を見て見ると、大きなこいつや、小さなこいつが、ピョンピョンはねていました。パァーンというピストルの合図で、みんないっせいにつづみの中に入りました。

と、大きなこいつが見え出しました。大きそうなのに、とびついて見ると、そのこいつがとれました。よく見ると、五十センチから六十センチくらいありました。ものすごくこいつに似ていました。大きなこいつを、とつたからまんぞくしました。来年のこいつ取り大会がくるのがたのしみです。

来年は、一メートルくらいこいつをとりたいです。

と、大きなこいつが見え出しました。大きそうなのに、とびついて見ると、そのこいつがとれました。よく見ると、五十センチから六十センチくらいありました。ものすごくこいつに似ていました。大きなこいつを、とつたからまんぞくしました。来年のこいつ取り大会がくるのがたのしみです。

来年は、一メートルくらいこいつをとりたいです。

と、大きなこいつが見え出しました。大きそうなのに、とびついて見ると、そのこいつがとれました。よく見ると、五十センチから六十センチくらいありました。ものすごくこいつに似ていました。大きなこいつを、とつたからまんぞくしました。来年のこいつ取り大会がくるのがたのしみです。

来年は、一メートルくらいこいつをとりたいです。

と、大きなこいつが見え出しました。大きそうなのに、とびついて見ると、そのこいつがとれました。よく見ると、五十センチから六十センチくらいありました。ものすごくこいつに似ていました。大きなこいつを、とつたからまんぞくしました。来年のこいつ取り大会がくるのがたのしみです。

来年は、一メートルくらいこいつをとりたいです。



こいつ

年金をかける暮らしに明日がある

…考えてみよう、あなたの国民年金…

日本人の平均寿命も長くなり、人生八〇年ももう目の前、長くなる老後に年金の必要性は、ますます高まっています。

▼基本になる公的年金

老後の生活を守る基本に、社会保障制度としての公的年金があります。いまの日本は、だれもが何かの公的年金に加入する皆年金の時代です。公的年金は、国が責任をもって行う社会保障制度ですから、国も将来にわたっての充実発展に力を注いでいます。高令化社会を迎えこうした公的年金を基礎

標準小作料が改訂されました

農委では、昭和56年度から昭和58年度に適用される標準小作料の改訂をしましたのでお知らせします。

農地区分	小作料の標準額(10a当たり)	備考
田	26,000	水稲 480kg 町全域
畑	11,000	町全域

▼大丈夫ですかあなたの老後

こうした皆年金時代に、加入していなかったり、保険料を納めなかつたりして、将来の年金を失うことは大きな損失です。

いま、高い保険料を納めるのは大変だとの声もありますが、この保険料は、将来大きくなってかえるあなた名義の強制貯金でもあります。

1/3の国庫負担、インフレにも強い物価スライド、それに5年ごとの年金額の再計算もあり、貯金と比べてもこれはど有利なものもあります。

年金なんでも相談所を開きます

「自分の年金はいくらになるか」「将来年金がもらえる資格があるだろうか」など国民年金、厚生年金、通算年金等についてのいろいろのご相談におこたえするため次のとおり「年金なんでも相談所」を開きます。年金についてわか

十時ごろあがりました。みんな、魚をもらっていただけ、わたしはもらっていませんでした。どうせ、もらってもすぐ死なせてしまうからかわいそうです。

11月26日(木曜日) 午前10時から午後3時まで 飯塚井筒屋 四階